

# 口腔顎顔面矯正学分野 特別講演会のお知らせ

『シン・矯正歯科治療-過去・現在・そして未来へ誘う-』

日時：2024年5月15日(水) 16:30~18:30

場所：歯学部3階 講堂

演者：犬東 信一先生

## いぬづか矯正歯科

平成2年3月 朝日大学歯学部卒業

平成2年4月 朝日大学歯学部歯科矯正学講座入局

平成7年3月 朝日大学大学院歯学研究科博士課程卒業 (歯学博士)

平成9年7月~平成17年7月 朝日大学歯学部歯科矯正学講座助手

平成17年8月 いぬづか矯正歯科開設~現在に至る

資格：歯学博士、日本矯正歯科学会 認定医・指導医・臨床指導医、

日本口蓋裂学会 口唇裂・口蓋裂認定師 (矯正歯科)、

日本顎変形症学会 認定医 (矯正歯科)



## 講演抄録

私は、平成2年(1990年)に朝日大学歯学部を卒業後、歯科矯正学講座に入局し歯科矯正学に携わり 現在まで早34年が経とうと為しております。大学医局時代は、当時丹羽金一郎教授の下 臨床・研究・教育にと色々勉強させて頂きました。研究に関しては『圧力センサーによるサル顎関節部荷重の測定』に関連して様々な繋がりを持つことが出来ました。また臨床面に於きましても、朝日大学矯正科特有の何者にも縛られない自由な発想のもとでいろいろなテクニックに触れることが出来たと思っております。その特徴的なものが、第61回日本矯正歯科学会名古屋大会 臨床セミナーでしょう。当時、日本での主なテクニック(フィロソフィー)の研究会が初めて一同に介して症例展示ならびセミナーを行い、大変勉強になったと記憶しています。その後、愛知県安城市にて矯正専門開業し、19年が経ちます。開業当初、安城市には専門開業医がないことも有り、いろいろなケースを見る機会が増えました。唇顎口蓋裂はもとより、唯々見守るだけの多くの先天性疾患、シビアな3級・2級・下顎側偏位などの外科矯正症例などなど。今現在も、いろいろなケースに関わらせて頂き、日々奮闘しています。

今回は、地域柄学童期の患者さんが多いこともあり、また自身の矯正臨床のベースとなる第一期(早期)矯正治療について主に発表させて頂きます。

また地域医療機関との連携治療についても、お話をさせて頂けたらと思います。

いろいろご指導、ご助言 併せて宜しくお願い致します。

\*本講演は、大学院医学研究科、医科栄養学研究科、口腔科学研究科の大学院特別講義ならびにクラスターコアセミナー(骨・筋とCaクラスター)を兼ねています。

連絡先：口腔顎顔面矯正学分野 田中 栄二

(088-633-7357 内線5291) etanaka@tokushima-u.ac.jp